

◆◆◆ アンデパンダン展（絵画の部）◆◆◆

開催期間：4月22日(土)～6月2日(金)

アンデパンダンとは、本来「独立」を意味するフランス語ですが、美術用語としては「誰でも自由に出品できる無審査かつ無賞の展覧会」を指します。町民のみなさんの参加型展覧会です。ぜひご覧ください。

【入館料】 無料 【休館日】 月曜日・祝日 ※最終日は午後4時まで



美術館・図書館からのお知らせ

休館のお知らせ

特別整理期間のため、下記の期間、図書館・美術館ともに休館となります。
【期間】平成29年4月10日(月)～4月17日(月) ◎注：通常の休館日も含みます。
※なお、休館前には、10冊貸し出しキャンペーンを実施いたします。
ご理解とご協力をお願いします。

◆4月のお休み◆

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

◆5月のお休み◆

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

図書館に入っている 雑誌一覧

★は 今年度、新しく入ります！

本 館

★プレジデント
Kikan Kochi (季刊高知)
ことりっふ
からだにいいこと
暮らしの手帖
現代農業
のらのら
芸術新潮
Number (ナンバー)
釣り画報

致知
サライ
婦人公論
Newton (ニュートン)
きょうの健康
趣味の園芸
ビーバル
Number Do (特集号)
四国旅マガジンGajA
文藝春秋

分 館

★本の雑誌
★NHK・ガッテン！
★ランドネ
LDK
ニナーズ
かぞくのじかん
クーヨン
サンキュ！
ゆうゆう
旅の手帖

ランニングマガジン・クリール
ほっとこうち
★Get Navi (ゲットナビ)
★園芸ガイド
ドゥーパ！
ソトコト
ゆほびか
オレンジページ
野菜だより
歴史街道

本館・分館共通

ESSE、MOE、ダ・ヴィンチ、日経PC21、婦人画報、Fishing Café、天然生活、うかたま、すてきにハンドメイド、きょうの料理



図書館に新しく入った本のリスト(最新号)を
四万十町役場のホームページより見るできるようになりました！ご利用ください。



■開館時間

図書館／午前 9:30～午後6:00 (日曜 午前 9:00～午後5:00)
美術館／午前10:00～午後5:30 (日曜 午前10:00～午後4:30)

■休館日／月曜・祝日

四万十町立図書館・美術館 ☎22-5000
四万十町立図書館 大正分館 ☎27-1193

地域おこし協力隊が行く！

皆さん、こんにちは。四万十町では現在19人の地域おこし協力隊員が活動しています。
今回は、石井、菊池、立花各隊員の様子を報告させていただきます。

小野 雄介



みなさんこんにちは。窪川地区担当の石井です。
私がまだ四万十町に着任したばかりの頃、とある先輩隊員を色々と質問攻めにしたことがあります。その時に伺った中に、協力隊の活動には、大きく分けて二種類あるという話がありました。それは「経済的な活性化」と「文化的な活性化」。文化的というのは、社会的と言い替えてもよいかと思います。



経済的な活性化というのは地域や集落が稼いだり、自分自身の仕事となるような活動。文化的な活性化は、音楽や絵画などの芸術、教育や医療などの暮らしを豊かにするための活動です。双方がうまく回っていかないと、本当の意味での活性化は難しい・・・。

この二つをどうやって両立していくかが、私の協力隊としての活動の中で、大きな指針となりました。これまでは、イベントの運営など文化的な活動が多かったように思いますが、徐々に経済的な活性化も目指し、その上で私も四万十町に定住できればと考えています。早いもので私も最後の三年目。悔いが残らないよう、最後まで走り抜けようと思います！！

大塚 智裕



十和地区担当の菊池です。
勝秀鍛冶屋で修行をする為に十和に住み始めて2年が経ち、地域おこし協力隊として最後の年になりました。

鍛冶屋の技術としてはできることが少しずつ増えてはいますが、まだまだ勉強が足りません。協力隊の任期満了まであと1年でどこまでできるようになるか、頑張ります。

任期満了後も師匠の元で勉強を続けますが鍛冶屋で生計を立てる事を考えると、今の勝秀鍛冶屋の立地ではかなりのハンデになると思います。しばらくは今の場所を使わせて頂くか、新しく建てるか、どこか場所をお借りするか、師匠や地域の方々、行政と相談をしてこの1年の間に決めたいと思います。

写真は仕上がった鉋に「土州勝秀」と銘を切っているところです。
興味のある方はいつでも作業を見学できますのでぜひお越しください。



大正地区担当の立花です。

昨年10月より毎週火曜日、田野々小学校にて「絵本の読み語りボランティア」に参加しています。子どもの本との出会いの機会を増やそうと、週毎に異なる担当者が各学年の教室へ出向き、始業前の朝の10分間に絵本を読み上げるこの活動は、今年で15年目を迎えるそうです。



限られた時間内に読み切れる作品選びには毎回骨を折りますが、児童の表情や歓声を想像しながら本棚を物色することは、私の楽しみの一つとなっています。自分が小さい頃に大好きだったもの、その時々季節や行事に合ったもの、大人でもハッと気づかされる点のあるもの……。一冊の本を選ぶ決め手や思惑は様々ですが、いざ児童たちの前で読むと予想外の反応も多くもらえるので、私にとっても学ぶことの多い貴重な場となっています。これからも、本を通じて子どもたちとの交流を深めたいと考えているので、お勧めの作品があればぜひ教えてください。

